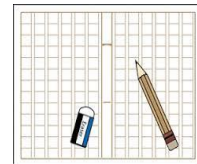




どくしょかんそうぶん か 読書感想文を書こう！



読書感想文とは、本を読んで自分が感じたこと、考えたことを伝える文章です。
本を読む前と読んだ後の自分の考えや気持ちの変化を書きます。

① 本を選ぼう！

・自分のお気に入りの本

(何度も読み返している本や、強く心に残っている本)

・登場人物が、身近に感じられる本

(同じ年くらい。好きなことやスポーツが同じ。似た体験がある。など)

・ノンフィクション(実際にあった話)

(疑問に思っていることや、知りたいことが書いてある本)



② 本を読もう！

・感想文を書く材料を集めるつもりで読もう。

・心が動いたところにふせんを貼ったり、メモをとりながら読もう。

(「感動した」「共感した」「すごい!」「知らなかった!」「ハラハラした」
「わたしだったらこうする/こうしない」など)



③ 書いてみよう！

物語のあらすじにそって順番に書くのではなく、感想文の中心になることを

1つか2つ決めてから書いてみましょう。

〈たとえば〉

・一番心に残った場面やことから(なぜ自分の心が動いたのか)

・登場人物の生き方や考え、行動は自分と比べてどうなのか

・本を読む前と、読んだあとの自分の気持ちの変化 など

〈組み立て方〉

中心にすることが決まったら、感想文を組み立てましょう。

感想文を「はじめ」「なか」「おわり」の3つで組み立てるのも、ひとつの方法です。

感想文の中心にすることを「なか」にもってきます。中心が2つある場合は、「なか1」「なか2」というように、「なか」が2つになります。

「はじめ」

〈たとえば〉

- 本^{ほん}を読^よんだき^きっかけ
- 本^{ほん}を読^よむ前^{まえ}に題^{だい}名^{めい}を見^みて思^{おも}ったこと
- 本^{ほん}を読^よむ前^{まえ}の自^じ分^{ぶん}の気^き持^もちや生^{せい}活^{かつ} など

たいせつ！

あらすじが多^{おほ}くなると本^{ほん}の紹^{しょう}介^{かい}文^{ぶん}になっ^なってしま^{しま}います。

あらすじは、短^{みじ}く、わ^わかりや^{やす}くま^まとめ^めます。

「なか」

〈たとえば〉

- 一^{いち}番^{ばん}心^{こころ}に残^{のこ}った場^ば面^{めん}やこ^こが^ら。な^なぜ心^{こころ}に残^{のこ}ったの^のかを説^{せつ}明^{めい}する。
- 登^{とう}場^{じょう}人^{じん}物^{ぶつ}の生^いき方^{かた}や考^{かん}え方^{がた}、行^{こう}動^{どう}のな^なか^かで好^すきなと^ところ^ろや、自^じ分^{ぶん}とに^にてい^いる^ると^ところ、ち^ちが^がつてい^いる^ると^ところを考^{かん}え^えて書^かく。
- ノンフイクシ^{んぷい}クシ^んの場^ば合^{あい}は、新^{あたら}しく知^しったこ^こと^とや、本^{ほん}を読^よむ前^{まえ}に思^{おも}つてい^いたこ^こととち^ちが^がつてい^いた内^{ない}容^{よう}を書^かく。
- 実^{じっ}際^{さい}に自^じ分^{ぶん}で体^{たい}験^{けん}した感^{かん}想^{そう}を書^かく。 など

たいせつ！

読^{どく}書^{しょ}感^{かん}想^{そう}文^{ぶん}で一^{いち}番^{ばん}大^{だい}切^{せつ}な^なの^のは、

そ^{その}の^の本^{ほん}を^よん^で自^じ分^{ぶん}(^の考^{かん}え)

が^かど^う変^へわ^わつ^たか、で^です

「おわり」

- 本^{ほん}を読^よむ前^{まえ}と後^{あと}で、自^じ分^{ぶん}の考^{かん}え方^{がた}がど^どのよ^ように^か変^へわ^わつ^たか。
- 本^{ほん}か^から学^{まな}んだこ^こと^とを、自^じ分^{ぶん}の生^{せい}活^{かつ}のな^なか^かに、ど^どのよ^ように^い生^いか^かして^いく^くか。 など

④ 感想文の題名をつけよう！

かんそうぶん だいめい
感想文^{かんそうぶん}の題^{だい}名^{めい}は、自^じ分^{ぶん}が一^{いち}番^{ばん}伝^{でん}え^えたいこ^こと^とか^からつ^つけ^けま^まし^しょう。

- 感^{かん}動^{どう}したこ^こと^とや、テ^てマ^まを^をタ^{たい}ト^とル^るに^にす^する
- 心^{こころ}に^{のこ}った言^{こと}ば^ばやセ^{だい}リ^{めい}フ^ふを^を題^{だい}名^{めい}に^にす^する
- 「な^なぜ^ぜ〜」「ど^どう^うし^して^て〜」と疑^ぎ問^{もん}を^をタ^{たい}ト^とル^るに^にす^する

ほんぶん か お
本^{ほん}文^{ぶん}を書^かき^き終^おわ^わつ^たら、
よ
読^よみ^みた^たく^くな^なる^る題^{だい}名^{めい}を^を
つ^つけ^けよう！

【令和8年度 読書感想文課題図書】

【低学年の部】

- 『まこちゃんとコトバロボ』
村上しいこ（佼成出版社）
- 『なにかいいことあった？』
ミーシャ・アーチャー（BL出版）
- 『ララのまほうのことば』
グレーシー・ジャン（工学図書）
- 『たねはいのちのおわりとはじまり』
鈴木 純（ブロンズ新社）

【中学年の部】

- 『まだまだここから』
宇佐美牧子（ポプラ社）
- 『それからぼくはひとりで歩く』
アリシア・モリーナ（ほるぷ出版）
- 『おいしいお米をつくりたい！
ゆうちゃん、小学生で農家に弟子
入りました』 谷本雄治（汐文社）
- 『宇宙でウンチ みんなの知らない
宇宙トイレのひみつ』 A.ボンドー＝
ストーン、C.ホワイト（あすなろ書房）

【高学年の部】

- 『ポジション』
高田由紀子（岩崎書店）
- 『リヒト!』
イノウエミホコ（文研出版）
- 『ミシュカ』
エドワルト・ファン・デ・フェンデル、
アヌッシュ・エルマン（ほるぷ出版）
- 『キミの一步アフリカ
ゾウを食べるにはひとロずつ』
味田村太郎（あかね書房）